



—いのち、暮らし、平和が大事！—  
日本共産党京都市議会議員

# 山本 陽子

活動ニュース



VOL.68  
2021年1月10日号

〈連絡先〉  
日本共産党  
山科区生活相談所  
山科区西野大手先 8-8  
☎ 595-8342

あけましておめでとうございます！  
今年も総選挙の年！ 国民が選ぶ政治は私たちの未来を大きく左右します！  
政権を変えて、国民の暮らしを守る“やさしい政治”へ、力を合わせましょう！



—12月28日市長発表—

## 『京都市の今後の行財政改革の視点及び主な改革事項』の方向性について

行財政改革の中間報告として総務消防委員会でおこなうことが約束されていたはずなのに取り止めとなり、その代わり仕事納めの日に市長の記者会見というかたちで方向性が示されたものです（←議会軽視です）

### 視点1 『すべての世代が暮らしやすいまちづくり』

具体策との結びつきがわかりません。「若者・子育て世代の定住促進」が挙げられていますが、これは従来、建物の高さ規制を緩和してオフィスの誘致を、と言っていたもの。「産業用地・空間の創出」は国有地の活用や、開発を示すものと思われまます。また文化で稼ぐ、という「文化と経済の融合」政策などが挙げられていますが、コロナ禍にあつて、いま真っ先に示すべき施策は、市民の暮らしや中小企業を守る施策ではないでしょうか？

### 視点2 『真に必要な施策を持続可能なものへ事業見直し』

一方、市民のいのちと暮らしを守る施策については、「少子高齢化により、将来世代の負担が過大に……世代間のバランス、受益と負担のバランスを図る観点で点検のうえ、見直す」とあります。その主な項目として真っ先に挙げられたのが「敬老乗車証制度」です。世代間の分断を招くとして高齢者福祉を削減するのは間違っています！ 若い人もいずれ高齢者になるのですから。若者にも高齢者にも安

心できる暮らしを保障する必要があります。

### 視点3 『投資事業の選択と集中』

令和3年から5年の間、不要不急の工事の予算計上を見送るといふものです。学校統廃合や市立芸大の移転は除外されており、そのまますすめるのは問題です。

### 視点4 『公共施設の適正管理・受益者負担の適正化』

市営住宅の戸数の削減や家賃減免などの見直し、また施設使用料の受益者負担増も示唆しています。

### 視点5 『組織・人員体制・人件費の適正化』

さらなる委託化、民営化をすすめ、職員削減や、給与の削減を示唆しています。

……このような行財政の改革内容で、京都市は市民の暮らしを守ってコロナ禍を乗り越えられるのでしょうか？ 京都市の歳出は削減できたとしても、市民の暮らしに追い打ちをかけ、困窮・困惑する市民を増やすことになりはしないか？ 緊急事態にあつて市民の暮らしを底から守っていく姿勢こそ示すべきではないでしょうか！！



仕事納めの28日朝、府庁前で、年金者組合など「敬老乗車証守ろう連絡会」の皆さんや、市職労、日本共産党市議団も集まって緊急宣伝がおこなわれました！ 山科からも4人が参加しました。新聞報道された改悪方針（対象年齢を70歳から75歳へ、負担金2倍弱案）を、京都市当局は認めてはいませんが、否定もせず。2月議会で提案される可能性が大きくなっています。これまで5万筆近く積み上げてきた署名を2月4日の京都市への署名提出行動までにさらに大きく集めていきたいと思っています。1月、山科でもがんばりましょう！

**敬老乗車証守ろう！**  
**庁舎前緊急宣伝（12・28）**

## ★年末の消防団激励、新年のご挨拶を自粛しました★

昨年、年末の京都府内14病院長の緊急声明や、コロナ感染者の増加を受けて、年末年始のご挨拶は自粛をさせていただきました。コロナ感染の状況や影響を見極めて、あらためてご挨拶させていただきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



## ママチャリ子育て日記

### 二学期終了

お姉ちゃんは、通知表もテストの成績もよく、がんばっているようです（塾へは行ってません）。個人懇談でも、先生から「手を挙げたり、積極的に授業に参加していました」と、姿勢の面からの評価もいただき、さらにうれしくなりました。

お姉ちゃんいわく「みんな、もし答が間違っていたら嫌やから、なかなか手を挙げへんねん」と言っていたところを見ると、間違ふことを恐れず、発言できているのかな？

道徳の授業では、それぞれが人権標語を考えて、無記名で発表し、クラスみんなでそのなかからよい作品を選んだのですが、最後に残った三つの標語がすべて、お姉ちゃんの考えたものだったらしいのです。「めっちゃドキドキしたわ」と言っています（三つのなかのどれが選ばれても自分のだから別にドキドキすることはないのでは？）

最終的に選ばれたのは、『その勇気で、あの子の未来は救われる』という標語だったそうです。

思春期まっただなか、一二歳。一生懸命、まっすぐ学校生活に取り組んでいるのはスゴイ！ マイペースで、新しい年もがんばろうね！

